

# ブロードバンドインフラを最大限に活かす次世代IPTVの画期的サービス。

インターネットサービスプロバイダーでもある株式会社NTT ぷらら様(以下、NTT ぷらら)は、それまでNTTグループ各社で展開していた「4th MEDIA」、「オンデマンドTV」、「OCNシアター」を統合し、新しい映像配信サービス「ひかりTV」を開始。国内初となる本格的IPTVサービスとして、多チャンネル放送、ビデオ・オン・デマンド(VOD)、カラオケサービスを提供するとともに、次世代ネットワーク(NGN)上で地上デジタル放送のIP再送信を行うなど、画期的なサービスを実現する新たな映像配信プラットフォームを構築しました。

## 日本標準となるIPTVシステムを短期間で構築

「ひかりTV」は、NTT ぷららが2008年3月から新たにスタートしたテレビ向け映像配信サービスです。我が国での本格的なIPTVの幕開けを告げるものであることから、各界から注目を集めています。

「ひかりTV」の事業化にあたり、2つの命題がありました。第1は、地上デジタル放送をIP網により再送信する地上デジタル放送IP再送信(以下、地デジIP再送信)の実現です。通信品質が高いNGN(フレッツ 光ネクスト)の特長を生かして、安定した高品質な映像配信を実現しました。第2は、IPTV標準規格を視野に入れたプラットフォームの構築です。サービス事業者、家電メーカーなどがIPTVフォーラム\*1に提案している技術仕様に準拠し、これまでの既存映像3サービスのイイトコドリをする形で、「ひかりTV」サービスの提供を実現しました。

「ひかりTV」の事業の大筋が固まったのは2007年7月。この時期はIPTVフォーラムがまさに仕様を固めている最中でし

た。我々はその仕様に準拠した新しい映像配信プラットフォームの内容を9月に決定。これと同時にセット・トップ・ボックス(STB)\*2の開発も進め、2008年3月にサービスを開始しました。実質1年未満ですべてを構築したことになり、スケジュール管理を含めたマネジメントは今振り返っても大変でした。

しかし、プラットフォームの刷新を図る中で3つの映像配信サービスを統合したことは、さまざまなメリットも生じました。まず運用面では抜本的な効率化が図られ、サービスの競争力も飛躍的に上がりました。コンテンツ調達では、それまで各社が個別で行ってきた調達を一本化することにより、コストを引き下げられました。

またIPTVフォーラムの技術仕様を採用したことで、薄型テレビへの「ひかりTV」対応内蔵チューナーの搭載が進みました。チューナーが内蔵されれば、ネットが不得手な高齢者の方々にもリモコンひとつで気軽に楽しみたいだけです。現在普及しているのは三波(地上波、BS、CS)共用テレビですが、IPTVを加えた四波共用テレビが一般的になる日もそう遠くはないかもしれません。

## 配信設備の構築は、まさに未知の領域だった

「ひかりTV」の事業化は、さまざまな意味で技術への挑戦でした。従来の多チャンネル放送、ビデオ・オン・デマンド(VOD)\*3とカラオケに、地デジIP再送信を加えたサービスであることから、配信設備も複雑化したのです。

地デジIP再送信は、長時間の連続運転に耐える高信頼性が要求されるサービスなので、東京・大阪では配信設備を完全二重化し、万一の障害時でも即座に切り替えられる体制を整えました。

NTTソフトウェアは地デジIP再送信の設備構築などの重要な部分を担当し、今までに手掛けられた大規模プロジェクトにおける構築ノウハウを十分に発揮しました。

地デジIP再送信の実現には帯域を確保できるNGNとの接続が必要だったのですが、NGNの商用開始に合わせ、我々のサービスを開始する必要がありました。そのため、NGNとの接続試験もかなり短期間でやらざるを得なかったのです。試験方法の選定や実施についても大いに活躍してもらいました。

NTTソフトウェアの特長は、NTT研究所の最先端技術をいち早く取り入れて実用化する技術力です。こうした上位レイヤでの新ビジネスでは、激しい技術革新の中での勝負になるので、最先端技術を我々事業会社に橋渡しする開発会社としての役割は非常に大きいと言えますし、今後も大いに期待しているところです。

## 初年度55万契約を突破する人気、これからもサービス拡充を目指す

おかげさまで「ひかりTV」はサービス開始1年間で累計55万契約を突破しました。当社の調査では、新規顧客の75～80%の方々がCS放送やケーブルTVの未加入者であったという結果が出ており、「ひかりTV」によるIPTVシステムが新たなマーケットを開拓し、コンテンツ市場の活性化にも貢献していると推測できます。

今、我々のミッションは、VODサービスの市場構築だと考えています。

月額3,675円の「お値うちプラン」では40以上の専門チャンネルを揃えた多チャンネル放送と約5,000本のVODが見放題



株式会社NTT ぷらら 代表取締役社長 板東 浩二氏

ですが、平日の昼や夕方に韓流ドラマやハリウッド系テレビドラマシリーズとアニメシリーズのVOD利用頻度が上がっています。これは、日中テレビを観ることが多い主婦や子供に利便性が伝わったためではないでしょうか。

テレビといえば、放送時間に合わせて観るものだと考えがちですが、好きな時間に観られる、ちょっと空いた時間に楽しめるVODは、そんな時間の壁を打ち砕くほど便利で自由です。しかも、急な用事で視聴を中断しても、もう一度最初からではなく中断シーンから観始める事や、巻き戻し、早送りが自在に出来ます。ぜひ皆様にもVODの楽しさを体験してもらいたいですね。

「ひかりTV」では、今年度中にBSデジタル放送のIP再送信を開始する計画です。また録画機能付きSTBも登場する予定です。今後、これらの基本サービスの拡充を目指すとともに、双方向性という特長を活かしたIPTVならではのサービスを充実させていきたいと考えています。

\*1 IPTVフォーラム：IPTV技術およびサービス基盤の整備を担う有限責任中間法人。その前身は同名のフォーラムで、民間協議会「次世代ブロードバンドコンテンツ流通フォーラム」の中で2006年に発足され発展してきた。

\*2 セット・トップ・ボックス(STB)：テレビでIPTV配信サービスを観るための受信機。

\*3 ビデオ・オン・デマンド(VOD/Video On Demand)：視聴者が観たいときに観たいビデオを選択して視聴できるサービス。コンテンツ提供事業者は視聴者の指示に従ってビデオを配信するため、双方向通信が必要となる。

## ● テレビをもっと楽しくする「ひかりTV」 ●

おすすめ番組・VODをバレードで紹介  
トップ画面のスムーズな動きも魅力。おすすめ番組やVODが縦スクロールで流れる。その画像を選択すれば作品詳細画面に遷移する。

直感的な操作性を実現  
高い検索機能と優れた操作性が特長。莫大なラインナップを誇るVODやカラオケも直感的な操作でお好みのタイトルを探し出すことができる。



トップ画面

中央にはラストビューのチャンネル映像が流れ、「d」ボタンを押すと全画面で視聴することが出来る。

カラオケは15,000曲以上  
業界最大級の15,000曲以上のラインナップ。1日歌い放題の「24時間バック」(月額525円)と1ヵ月定額制の「カラオケ・プレミアムバック」(月額1,785円)がある。

### ハイビジョン対応の番組・VOD

ハイビジョン品質の高画質コンテンツが自由に楽しめる。多チャンネル放送では、数々のハイビジョン対応チャンネルがラインナップされ、VODでもハイビジョンビデオタイトルが順次追加配信されている。

### 面倒なアンテナ設置が不要

「ひかりTV」はNTT東日本、NTT西日本が提供するフレッツ 光ネクストおよびフレッツ光経由で配信される映像サービス。光回線をテレビにつなぐだけで楽しむ、アンテナを設置する必要もない。



## NTT ぷらら

株式会社NTT ぷらら  
NTT Plala Inc.  
<http://www.nttplala.com/>

設立	平成7年12月
事業内容	インターネット接続サービス、ブロードバンド映像サービスなど
資本金	123.21億円
従業員数	280名

### 「ひかりTV」サービス概要



<http://www.hikaritv.net/>

- 70以上の専門チャンネルを揃えた多チャンネル放送
- 総本数10,000本以上のビデオを楽しめるVODサービス
- 15,000曲以上が自宅で楽しめるカラオケサービス
- 地上デジタル放送のIP再送信サービス(※)

※地デジIP再送信提供エリア:

東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・大阪・京都・兵庫

(2009年度中に、北海道・宮城・新潟・栃木・群馬・茨城・静岡・広島・福岡でもサービス開始を計画。)